

子育てと暮らしを 地域で支え合う まち

保護者の就労形態に関わらず、子どもに質の高い教育・保育を提供するため、認定こども園亀崎幼稚園及び板山こども園を4月に開園し、それぞれの特色を活かしながら幼児教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。待機児童対策については、小規模保育事業を実施し、低年齢児の保育拡充を図ります。児童発達支援センターつくし学園では、通所支援に加え、相談支援、保育園等への訪問支援を実施します。また、市外に通所している身体に障がいのある児童を平成28年度から受け入れるため、園舎を増築し機能拡充を図ります。板山こども園の開園に伴い閉園する板山幼稚園施設に、ふたば園を移設し、平成28年4月から心身の発達の遅れを心配する子

どもと家族を支援する施設とするための環境を整備します。生活困窮者自立支援事業は、生活保護に至る前の段階にある生活に困窮する人々の自立支援のため、自立相談支援事業、住宅確保給付事業を実施します。

団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向けた地域包括ケアシステムの構築を進めるため、在宅医療連携システム整備事業を実施し、質の高い医療、介護サービスを安心して受けられる環境を整備します。介護保険事業は、第6期介護保険事業計画等に基づき、地域での介護予防や生活支援、医療・介護の連携等に取り組みます。また、第1号被保険者の介護保険料月額基準額を、高齢者の皆様が介護予防や健康づくりに努めていただいたことなどにより、第5期から50円引き下げ、4,930円とします。

市立半田病院は、急性期医療をさらに充実させていくことで、3,100万円余の黒字を見込みます。施設面では、老朽化した設備や医療機器等の更新を行うとともに、新病院構想を具現化するための基本構想の策定に着手します。

身体に障がいのある児童を受け入れるために

児童発達支援センターつくし学園整備事業

予算額 2億4,891万6千円

平成28年度から、新たに身体に障がいのある児童の受入れを実施するため、療育室等を増築し、身近な地域で適切な支援の提供を行います。



母子通園施設を移転

ふたば園移設整備事業

予算額 2,062万1千円

板山こども園の開園に伴い閉園することになった板山幼稚園施設に、老朽化が懸念される母子通園施設「ふたば園」を移設し、子どもの療育施設としての良好な環境を整備します。

待機児童の解消のために

特定地域型保育事業

予算額 1,499万5千円

待機児童対策として、子ども・子育て支援新制度において創設された小規模保育事業を実施し、年度途中に発生している待機児童の解消に向け、3歳児未満の受入れ拡大を図ります。

【その他、主な事業】

事業名	内容	予算額
予防接種事業	伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延防止のため予防接種を行います。	3億303万9千円
放課後児童健全育成事業	保護者が労働等で昼間、家庭にいない児童に対し、小学校授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供します。	9,855万1千円
がん検診等推進事業	がんの早期発見、早期治療を目的にがん検診を実施し、検査結果において要精密検査となった方に対して受診勧奨をします。	5,441万8千円
児童発達支援センターつくし学園地域支援事業	平成27年度から、通所支援に加え、障がいのある児童やその家族への相談支援や保育所等への訪問支援などの「地域支援事業」を実施し、児童発達支援センターとしての機能の拡充を図ります。	660万2千円